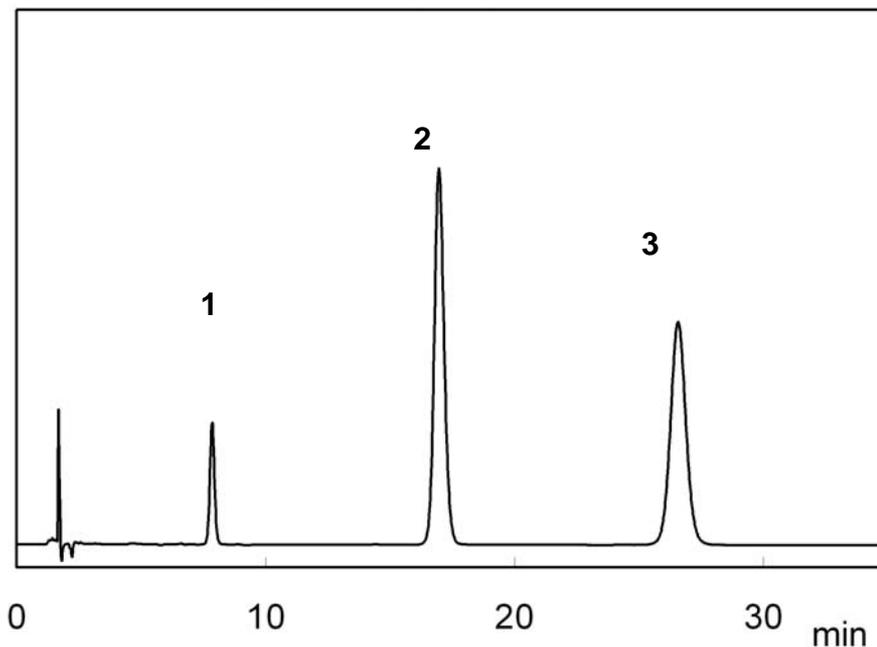


ロートコンの成分定量法：システム適合性

—第十六改正 日本薬局方より—



Column: TSKgel ODS-100V 5 μ m
(4.6mmI.D. x 15cmL)
Column temp.: 20 $^{\circ}$ C
Eluent: 50mM KH₂PO₄-TEA(pH3.5)
: CH₃CN = 9:1
Flow rate: 1.2 mL/min
Detector: UV (210nm)
Injection vol.: 10 μ L
Concentration: 40 μ g/mL
(Scopolamine Hydrobromide)

Samples:
1. Scopolamine
2. Atropine (Hyoscyamine)
3. Brucine

$R_s(1/2)=17.1$, $R_s(2/3)=10.4$



ロートコン

—第十六改正 日本薬局方より—

定量法 ……

試験条件

検出器: 紫外吸光光度計(測定波長: 210 nm)

カラム: 内径 4 mm、長さ 15 cm のステンレス管に 5 μ m の液体クロマトグラフィー用オクタデシルシリル化シリカゲルを充てんする。

カラム温度: 20 $^{\circ}$ C 付近の一定温度

移動相: リン酸二水素カリウム 6.8 g を水 900 mL に溶かし、トリエチルアミン 10 mL を加え、リン酸で pH 3.5 に調整した後、水を加えて 1000 mL とした液/アセトニトリル混液 (9 : 1)

流量: スコポラミンの保持時間が約 8 分になるように調整する。



ロートコン

—第十六改正 日本薬局方より—

システム適合性

システムの性能:

標準溶液 10 μ Lにつき、上記の条件で操作するとき、スコポラミン、アトロピン、内標準物質の順に溶出し、スコポラミンとアトロピンとの分離度は 11 以上、またアトロピンと内標準物質との分離度は 4 以上である。

注) 内標準物質: ブルシンの二水和物